

3. 教職課程の履修にあたっての注意事項

(1) 履修登録制限単位について

時間割表に科目名とともに記載されている登録コードが「Z」で始まる科目については、履修登録制限に含まれません。そのため、制限単位を超えて履修登録することになりますが、予習・復習といった学修時間を確保する必要があるなど、線密に履修計画を立てることが求められます。

具体的には下記の科目が履修登録制限に含まれません。

① 教職に関する科目

ただし、教職に関する科目を兼ねている教養教育科目・専攻科目は、制限登録単位に含まれます。

② 介護等体験に関する科目の「介護等体験」

③ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の「教職コンピュータ基礎」

④ 一部の教科に関する科目

(2) 事前登録・予備登録が必要な科目について

教員免許取得のために必要な科目は、大部分の教職に関する科目を除き、ほとんどが教養教育科目・専攻科目等です。これらの中には事前登録・予備登録をしないと受講できない科目がありますので、学部履修要項で確認しておくようにしてください。

(3) 2教科以上の免許状を取得しようとする場合の注意点について

①「教科に関する科目」は、取得しようとする教科ごとに履修しなければなりません。

②「教科に関する科目」以外は、取得しようとする教科にかかわらず共通ですが、「教職に関する科目」の教科教育法は、取得しようとする教科ごとに履修しなければなりません。

(4) 教員免許取得上の「必修」「選択」について

次のページ以降に出てくる履修要件の「必修」「選択」は教員免許取得上のものです。卒業要件の「必修」「選択」科目とは異なりますので注意してください。

(5) 次のページ以降に出てくる『分野』という記載について

「教養教育」→教養教育科目

「専攻」→専攻科目

「随意」→随意科目

「コース」→学部共通コース科目

(6) 教職課程に関わる諸連絡について

教職課程に関する連絡は、原則として各学部掲示板では行いません。教職課程履修者はポータルサイトおよび教職センター掲示板を常に見るように心がけてください。

また、各種説明会等へは、必ず参加してください。無断欠席等の場合、履修できなくなることがあります。

2. 本学指定の必修科目（人権論）

2 単位必修

| 授業科目名 | 単位数 | 履修要件 | 分野 |
|-------|-----|--------|------|
| 人権論 A | 2 | 2 単位必修 | 教養教育 |
| 人権論 B | 2 | | |

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目

(1) 国際文化学科

| 免許法施行規則に定める科目 | 本学開講の関連科目及び単位数 | | | |
|------------------|-------------------------------------|-----|-----------|------|
| | 科目名 | 単位数 | 履修要件 | 分野 |
| 日本国憲法 | 日本国憲法 | 2 | 必修 | 教養教育 |
| 体育 | 体育実技 | 1 | 必修 | 随意 |
| | スポーツと人権・平和 | 2 | 2単位 必修 | 教養教育 |
| | 健康とスポーツ | 2 | | 教養教育 |
| | 現代社会とスポーツ | 2 | | 教養教育 |
| | 人間とスポーツ | 2 | | 教養教育 |
| 外国語 コミュニケーション | English Communication I -Seminar A | 2 | 2単位 必修 | 専攻 |
| | English Communication I -Seminar B | 2 | | 専攻 |
| | English Communication II -Seminar A | 2 | | 専攻 |
| | English Communication II -Seminar B | 2 | | 専攻 |
| 情報機器の操作 | 教職コンピュータ基礎 | 2 | 必修 | 随意 |

(2) グローバルスタディーズ学科

| 免許法施行規則に定める科目 | 本学開講の関連科目及び単位数 | | | |
|------------------|----------------------------|-----|-----------|------|
| | 科目名 | 単位数 | 履修要件 | 分野 |
| 日本国憲法 | 日本国憲法 | 2 | 必修 | 教養教育 |
| 体育 | 体育実技 | 1 | 必修 | 随意 |
| | スポーツと人権・平和 | 2 | 2単位 必修 | 教養教育 |
| | 健康とスポーツ | 2 | | 教養教育 |
| | 現代社会とスポーツ | 2 | | 教養教育 |
| | 人間とスポーツ | 2 | | 教養教育 |
| 外国語 コミュニケーション | 英語 (Oral Communication) I | 2 | 2単位 必修 | 専攻 |
| | 英語 (Oral Communication) II | 2 | | 専攻 |
| 情報機器の操作 | IT リテラシー A | 2 | 2単位 必修 | 専攻 |
| | IT リテラシー B | 2 | | 専攻 |
| | 教職コンピュータ基礎 | 2 | | 随意 |

2. 教職に関する科目

| 免許法施行規則に定める科目区分等 | | 中学校教諭、高等学校教諭一種免許状 | | | | | 備考 |
|--|---|-----------------------|----|-------------|----------|------|-------------------|
| 科目 | 各科目に含める必要事項 | 本学開講科目 | 単位 | 履修要件 | 分野 | 配当年次 | |
| 教科の指導法に関する科目 | 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。) | 英語科教育法A | 2 | 8単位 必修 | 随意 | 2 | ※1 |
| | | 英語科教育法B | 2 | | | 2 | |
| | | 英語科教育法I | 2 | | | 3 | |
| | | 英語科教育法II | 2 | | | 3 | |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 教育原論A | 2 | 2単位 必修 | 教養 教育 | 2 | A・B両科目履修 が望ましい |
| | | 教育原論B | 2 | | | 2 | |
| | 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) | 教職論 | 2 | 必修 | 随意 | 2 | |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) | 学校教育社会学 | 2 | 必修 | 随意 | 2 | |
| | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | 学習・発達論A | 2 | 2単位 必修 | 教養 教育 | 2 | A・B両科目履修 が望ましい |
| | | 学習・発達論B | 2 | | | 2 | |
| | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | 特別支援教育概論 | 2 | 必修 | 随意 | 2 | |
| 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。) | 教育課程論 | 2 | 必修 | 随意 | 2 | | |
| 道徳、総合的な学習の時間等及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳の理論及び指導法 | 道徳教育指導法 | 2 | ※2 | 随意 | 3 | ※2中学校免許取得希望者は必修 |
| | 総合的な学習の時間の指導法 | 総合的な学習の時間・特別活動論 | 2 | 必修 | 随意 | 3 | |
| | 特別活動の指導法 | | | | | | |
| | 教育の方法と技術 | 教育の方法と技術 (ICT活用含む) | 2 | 必修 | 随意 | 3 | |
| | 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 | | | | | | |
| | 生徒指導の理論及び方法 | 生徒・進路指導論 | 2 | 必修 | 随意 | 2 | |
| | 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 | | | | | | |
| 教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 | 教育相談 | 2 | 必修 | 随意 | 3 | | |
| 教育実践に関する科目 | 教育実習 | 教育実習指導I | 1 | 必修 | 随意 | 4 | |
| | | 教育実習指導IIA | 4 | 1科目 必修 | 随意 | 4 | ※3中学校免許取得希望者必修 |
| | | 教育実習指導IIB | 2 | | | 4 | ※3高等学校免許取得希望者必修 |
| | 教職実践演習 | 教職実践演習(中・高) | 2 | 必修 | 随意 | 4 | ※4 |
| 合計 | | 中学校：37単位以上 | | 高等学校：33単位以上 | | | |

※1 教科教育法の履修方法

- ・「英語科教育法Ⅰ」は「英語科教育法Ⅱ」よりも前に修得しなければなりません（先修科目）。
- ・「英語科教育法A」及び「英語科教育法B」については、履修の順序を問わず、「英語科教育法Ⅰ」や「英語科教育法Ⅱ」の先修科目ともしません。

※2 高校免許取得希望者が、中学校免許取得に必要な「道德教育指導法(2単位)」を修得した場合は、法律で定める「大学が独自に設定する科目」に充てられます。ただし、本学で高等学校一種免許状取得に必要として開講している「教科及び教職に関する科目」には充当できません。

※3 中高両免許取得者は「教育実習指導ⅡA」(4単位)を登録すること。詳細については、9ページ「3. 教育実習について」を参照してください。

※4 「教職実践演習」の履修については、14ページ「5. 教職実践演習の履修について」を参照してください。

履修年次は変更になる可能性があるため、必ず履修登録時に時間割等で確認をしてください。

3. 教科に関する科目

開講状況・配当セメスター等については、必ず毎年度、時間割表・シラバス等で確認してください。

中学校教諭一種免許状・高等学校一種免許状（国際文化学科） 英語

()内は単位数

| 教科に関する科目 及び科目群 | 本学開講の関連科目及び単位数 | | | | |
|-------------------|----------------|--|----------------------|--|--|
| | 必修 単位 | 必修科目 | 分野 | 選択科目 | 分野 |
| 英語学 | 6 | 比較言語学 (2) 応用言語学 (2) (2科目必修) 心理言語学 (2) 会話分析入門A (2) (2科目のうち1科目 必修選択) | 専攻 専攻 専攻 | 会話分析入門B (2) | 専攻 |
| 英語文学 | 2 | Contemporary Literature (2) | 専攻 | | |
| 英語 コミュニケーション | 8 | English Communication I (2) -Seminar A English Communication I (2) -Seminar B English Communication II (2) -Seminar A English Communication II (2) -Seminar B | 専攻 専攻 専攻 専攻 | English Workshop A (2) English Workshop B (2) English Workshop C (2) English Workshop D (2) 英語外書講読A (2) 英語外書講読B (2) 上級英語A (2) 上級英語B (2) | 専攻 専攻 専攻 専攻 専攻 専攻 専攻 専攻 |
| 異文化理解 | 2 | 異文化間 コミュニケーション論 | 専攻 | キリスト教の文化A (2) メディア文化論D (2) 欧米の演劇 (2) | 専攻 専攻 専攻 |

履修上の注意

必修科目18単位を含め、計32単位以上を修得しなければなりません。
必修科目中、規定以上に修得した科目は選択科目として認められます。

中学校教諭一種免許状・高等学校一種免許状（グローバルスタディーズ学科）
英語

（ ）内は単位数

| 教科に関する科目 及び科目群 | 本学開講の関連科目及び単位数 | | | | |
|-------------------|----------------|---|----------------------|--|----------------------------|
| | 必修 単位 | 必修科目 | 分野 | 選択科目 | 分野 |
| 英語学 | 8 | 心理言語学 (2) 応用言語学 (2) 会話分析入門A (2) 会話分析入門B (2) | 専攻 専攻 専攻 専攻 | 言語習得論 (2) Introduction to Sociolinguistics (2) Global Englishes and Communication (2) 言語教育政策論 (2) | 専攻 専攻 専攻 専攻 |
| 英語文学 | 2 | Contemporary Literature (2) | 専攻 | | |
| 英語 コミュニケーション | 6 | 英語 (2) (Oral Communication) I 英語 (2) (Oral Communication) II Critical Reading (2) | 専攻 専攻 専攻 | Discussion & Debate (2) English for Global Studies (2) Advanced Writing Strategies (2) 通訳・翻訳研究A (2) 通訳・翻訳研究B (2) | 専攻 専攻 専攻 専攻 専攻 |
| 異文化理解 | 2 | 異文化間 コミュニケーション論 (2) | 専攻 | Introduction to Cultural Anthropology (2) グローバル市民社会論 (2) グローバル・ヒストリー入門 (2) Globalization of Education (2) | 専攻 専攻 専攻 専攻 |

履修上の注意

必修科目18単位を含め、計32単位以上を修得しなければなりません。